



〇〇 「魅力ある体育祭とは！？」 〇〇 校長 河田 真一

みなさんに質問です。「魅力ある体育祭」とはどのような体育祭でしょうか？

さて、5月15日に私の心を揺さぶるニュースがありました。サッカー日本代表、ワールドカップメンバーの発表です。そのリストの中に、本来なら主役であるはずの三笥薫選手の名前はありませんでした。直前の大きな怪我で、彼は夢の舞台に立つことができなくなったのです。発表の会見で、森保監督は三笥選手について問われたとき、声を震わせ、涙を浮かべてこう言いました。『選ばれた26名だけで戦うのではない。選ばれなかった彼らの思いも背負って、私たちはチームとして戦う。誰がピッチに立っても、次の人間がステップアップして助け合うのが、私たちのチームの原則だ』と。三笥選手は今、誰よりも悔しいはずですが、しかし彼は、落選が決まった後、すぐに『選ばれた仲間を全力で応援する』とメッセージを送りました。

ところで、ワールドカップに挑む日本代表にかかわる人々がどれくらいいるか知っていますか？競技に挑む選手や監督、コーチ、トレーナーはもちろんわかつています。でも、これだけではありません。メディカルスタッフ、メンタルケアスタッフ、スパイクや練習着などを準備する用具係をはじめ、シェフや栄養士もいます。ほかにも洋服メーカーのダンヒルや飛行機会社のANAなど多くの方々の支えや協力のもと、一つの目標に向かって選手が戦いに挑みます。

体育祭では、学校のスローガンや各クラスで立てた目標を達成するよう、日々練習を重ねています。クラスの中には『本当はもっと活躍したかったのに、思うようにいかない』という葛藤を抱えている人がいたり、『自分にできる精一杯』でがんばっている人がいます。みなさんの活動を支えてくれている様々な人々がいます。そんな周りの人々に対して、みなさんは何ができるでしょうか。

それは、森保監督が示したような『仲間への敬意』です。うまくいかなかった人を、責めるのではなく、その悔しさを「背負って」次に繋げる。得意な人が、苦手な人の分までカバーするのを「当たり前」にする。周りのために自分の良さを存分に発揮する。ワールドカップを戦う日本代表が、一人の力ではなく、『欠けたピースを全員で埋める結束力』で世界に挑もうとしています。一つの目標に向かって一丸となって進もうとしています。



最後になりますが、体育祭練習が残りわずかとなりました。体育祭に向けた皆さんのクラスの雰囲気はどうか？この期間にうまくいっていることもあれば、うまくいっていないこともあることでしょう。体育祭当日まで、まだできることがあるはずですが、本番までの努力や取組が、一人ひとりの輝きと、チームの力強い結束を生み出し、記憶に残る感動的で魅力的な体育祭となることを心から願っています。

Tsukushino Junior High School Every Day

◇◆◇一年生校外学習～つくし野アスレチックが10年後・20年後も愛されるために～◇◆◇

「つくし野アスレチックが10年後・20年後も愛されるために」という課題のもと、事前学習では自分たちで仮説をたて、実際にアスレチック校外学習で実地検証し、課題に対するアイデアを発表するという総合的な学習の時間の一環として実施しました。

校外学習当日は、11時過ぎから雨が降り出し、予定より少し早く切り上げて学校へ戻ることになりましたが、「もっと遊びたかった！」という気持ちをエネルギーに変えて、楽しかった出来事を振り返りました。事後学習のスライドづくりは自分たちが体験したワクワクを未来の子どもたちにも繋いでいくにはどうすればいいかという視点で、一人ひとりが真剣に考え、素晴らしいアイデアを披露してくれました。



◇◆◇生徒総会 ◇◆◇

5月15日(金)に生徒総会が行われました。「生徒自身が考え、判断して、より良い学校生活を営んでいくこと」を目的として、生徒主体となって今年度の生徒会を考えていく大事な行となっています。一人ひとりが個性や違いをみとめ、尊重できる集団であることを、生徒会活動でも取り組んでくれています。

【生徒総会の議案書の一部を紹介します(活動方針・活動内容など)】

- 本部役員・・・スローガン「拓」。デジタル投書箱、ペットボトルキャップ、TCCフェスタ等
- 第3学年学級委員会・・・「輝け！最後まで ～レッドファイヤーハート～」
- 第2学年学級委員会・・・「Sky is the limit ～可能性は無限大～」
- 第1学年学級委員会・・・「Fresh ray 努力の LapisLazuli ～団結と笑顔をもった青学年～」
- 生活委員会・・・いじめ0宣言、あいさつ啓発活動、規律ある環境を整える取組など
- 保健委員会・・・ハンカチつめ点検、石鹼補充、教室換気、救護活動など
- 放送委員会・・・昼と下校時の放送、様々な行事の放送、放送機材の準備など
- 美化委員会・・・美化点検、クリーナー清掃、清掃用具の点検と整備、ワックスデーなど
- 図書委員会・・・図書室の管理運営、本の紹介、読書奨励企画、昼休み本貸し出し補助など
- 体育委員会・・・ボール貸し出し当番、体育倉庫の清掃、体育祭の運営
- 給食委員会・・・給食に関する活動(配膳台準備、エプロン管理など)、食育の推進
- 選挙管理委員会・・・生徒会役員選挙に関するすべての運営

◇◇ 体育祭練習が本格的にスタートしています ◇◇

5月30日(土)の体育祭に向けて、準備が着々と進んでいます。例年以上に生徒の生き生きとした姿をみることができる体育祭に仕上げていきます。その中で、注目していただきたい種目は「I 組ダンス」です。昨年度のダンスからさらにスケールアップした演技を楽しみにしてください。4月末日に各学級にてダンス参加者の募集を募ったところ、総勢300名近い人数でのダンスとなりました。参加者は GW 期間にグーグルクラスルームで送信されたオンライン動画を見て振り付けを学び、現在は昼休みや放課後などを利用して、I 組の生徒たちと練習してきました。当日の発表が今から楽しみです。ちなみに、相当数の教職員も参加しますので、そちらも楽しみにしてください。

また、各学年の学年練習が始まりました。各学年趣向を凝らした学年種目、大縄跳び、リレーなどの練習が行われています。走るのが速い人、力がある人、周りの人の気持ちを鼓舞できる人、片づけを率先して行ってくれる人、うまくいかない人のフォローをしてくれる人など、いろいろな人が様々な場面で活躍し、本番に向けて学級の機運も高まってきました。

縦割り関係も工夫して作成し、上級生が下級生にアドバイスしたり、応援している姿はとても素敵でした。

つくし野中学校の生徒が一生懸命に頑張る姿はみなさんに感動を与えてくれるはず。ぜひ、ご来場並びにご参観を心よりお待ちしております。



【保護者の皆様へ】

5月7日(木)の引き渡し訓練では多数の保護者の方にご来校いただき、誠にありがとうございます。近い未来に来るであろう大震災に備えてより実践的な避難訓練を行うことができました。心配なことや改善したほうがいいことなどありましたら、つくし野中学校までご連絡ください。

また、5月9日(土)の学校公開日では生徒の学校での様子をご覧いただけたのではないのでしょうか？多くの方から感想もいただいております。貴重なご意見として今後の学校運営の参考にさせていただきます。また同日の午後に部活動保護者会を実施しました。つくし野コミュニティクラブ(通称;TCC)について、再度保護者の皆様にご協力のお願いと趣旨説明をさせていただくとともに、各部活動の方針もお伝えさせていただきました。今後も皆様のご理解とご協力よろしく願います。

最後に、体育祭についてのお知らせです。PTAの在り方が変更となり、体育祭ではボランティアとしてお手伝いしていただくこととなります。ご多用とは思いますが、ご協力よろしく願います。なお、体育祭の詳細については別紙をご参照ください。

6月の主な予定

日	曜	校内行事	備考	給食
1	月	振替休業日		
2	火	体育祭予備日①		○
3	水	体育祭予備日②		○
4	木	体育祭予備日③ 午前授業	①②カット	○
5	金	陶芸教室(I組)		○
8	月	全校朝礼、一斉委員会	B時程	○
12	金	教育実習終		○
15	月	テスト1週間前		○
17	水	茶道教室(I組)		○
22	月	期末考査	~24日(水)	○
26	金	第1回進路説明会(3年) 陶芸教室(I組)		○
29	月	⑤セーフティ教室		○
30	火	⑥SOSの出し方に関する学習(1年)		○

「自分以下」を求める

以前、道徳の授業で「自分以下を求める心」という題材からいじめについて考える授業をしたことがあります。

主人公の女の子は、小学校2年生の時にいじめをしていました。中学生になり、当時の自分は自分を磨く努力もせずに、ただ自分より下の存在を作りたいというだけで、いじめていたことに気がつき、当時いじめた人に対してあやまりたいという気持ちになりました。という内容です。

誰でもできない人や苦手な人を見て、ちょっとした優越感に浸ることがあります。しかし、できない人や苦手な人は「自分以下」なのでしょうか。誰にでもできないことや、苦手なことがあって、それができないことで優劣が決まるものではありません。「できないこと」は単なるその人の一面であり、人間の価値の優劣ではないと気づくことが、本当の意味での「尊重」に繋がります。

そもそも、自分で自分を認められている(自己肯定感が高い)状態なら、わざわざ「自分以下」を探して安心する必要がなくなります。比べるべきは他人ではなく、「過去の自分」です。

「自分以下」を求めない人間になるためには、他人のことをとやかくいわない、相手を尊重する心をもった生き方が大切です。努力しない人ほど、他人を傷つけたり、とやかく言ったりしています。

<自分以下などいらない生き方をつかむために>

- 自分のいいところを認めて、自己肯定感を高める。 ○人と比較せずに、自分の目標に向かって頑張る。
- 相手の立場になって、敬う気持ちが大切。 ○自分一人では生きられないので、感謝の気持ちを忘れない。
- 友達のいいところをたくさん探す。 ○ノリで人をいじらない。 ○うわさ話に乗らない。
- 人のあら捜しをしない。 ○いじめをしようとしている人がいたら複数で止める。

いじめ0宣言の達成に向けてひとりひとりが過去の自分に負けない気持ちをもちたいですね。

(副校長 残間 喜満)